

ALESSANDRO

アレサンドロの名前の由来はギリシャの皇帝、アレクサンドロス 3 世（アレキサンダー大王）から命名しました。アレサンドロは、自然の美しさをジャカード織の技術を使用してネクタイで遺すというコンセプトで 1979 年からスタートしました。

アレサンドロ（夢）

アレサンドロ（夢）は現代のジャカード織の技術と日本の伝統の技術を融合させて、世界で一番の高額品のネクタイを創りたいという発想で始まりました。それは単にダイヤモンド等の宝飾品をネクタイに付けた高額品では無く、あくまでも現代のジャガード織機の技術と日本の文化から生まれた伝統技術で、丹精を込めた物創りで、贅を尽くした世界一のネクタイを創るという事です。

構想からデザイン決定まで 1 年。2007 年～2008 年 3 月デザイン決定。2008 年 4 月～2011 年 1 月までの 3 年を掛けて製紋しネクタイが完成するまで計 4 年の歳月をかけて創りました。デザインは遠くにそびえる山脈と湖が見え、花が咲き乱れた草原に世界中の蝶が飛び交う心象風景です。

① 意匠・製紋

デザインが決定してからジャカードで織るための意匠図（織物の設計図）の制作に入ります。最初に背景の情景を作りました、遙か遠くに山脈がそびえ、遠くに湖が見え草原には花が咲き乱れる情景の立体感と遠近感を出す為に何度も修正と変更を重ねて、最終的に情景部分だけで 84 種類の織物の組織と 8 色のヨコ糸を使いました。次に蝶の意匠を作成し、蝶の表現は京刺繍（平安時代～）、西陣の手描き友禅（江戸時代元禄～）、西陣の金彩友禅染（戦後～）伝統の職人技術とジャカード織りで 70 色の色を使い生地に直接描いています。全ての色数は 78 色になります。CAD システムにて意匠をしましたが、通常のネクタイの 400KB 位の容量に対して、8,400KB と 20 倍以上の非常に大きなデータになりました。（通常パネルで 2,000～4,000KB 位）紋紙枚数（総糸本数）も通常柄 120～1,000 枚くらいに対して 14,000 枚と 10 倍以上の大きなものになりました。倍釜の織機ですので実際に紋紙を彫ったとすると 28,000 枚になります。

② 倍釜の説明（ヨコ糸方向の柄の繰り返し）

通常のネクタイは、シングル釜（1296 口）のジャカードで織ります。99.0/cm の経密度の織機で約 13 cm の釜巾（柄の繰り返し）になります。アレサンドロは、広大に広がる風景をネクタイの裏面まで続けて表現する為に倍釜といわれる大きなジャカードの織機（2592 口）を使用しています。これにより柄の繰り返しが 26 cm になり、裏面に柄の繋ぎ合わせが出ない様になっています。

③ ヨコ糸の密度（本数の多さ）

通常の高級ネクタイで韋密度は、75～100本/cmです。アレサンドロは、平均の韋密度が、170本/cmと倍近い密度で織られています。また、蝶の飛んでいるところは、440本/cmと超高密度でヨコ糸を非常に多く使用した織物になっています。そのため、通常糸 21/6 片（※126 デニール）より細い糸 21/3 片（※63 デニール）を使用して生地が厚くなり過ぎない、シルクのしなやかさを残す工夫をしています。 ※1 デニールは 1g の糸を 9,000m 伸ばした時の太さ。

④ ジャカードの色数

通常、織機は 8 丁杼（ヨコ糸が 8 色までしか使えない）ですが、アレサンドロは、23 色。アレサンドロは背景の風景だけで 8 色を使用しています。その他の蝶で 15 色を使用し合計 23 色のジャカード表現になります。その為通常 8 丁織機ではなく、特注の 12 色織機を使用して製織をしています。実際にはそれでも 23 色には及ばなかった為、蝶を 1 頭織るごとに織機を停止してヨコ糸を交換しセットし直して、また続きを織ることを 11 回繰り返して、23 色の織物を表現しました。

⑤ 製織の方法

織機の回転数を落として打ち込みをしっかりと入れている。通常 380 回転/1 分間に対し、アレサンドロの「夢」は 290 回転/1 分間と、ジャカード織機としては一番遅く設定しました。その為、織り出し、サンプルマス見本織も通常のもの 10 倍位の時間が掛かります。

⑥ 京都西陣手刺繍（平安時代～）

蝶と小剣の植物は京都西陣の手縫いの職人さんによる刺繍の技術で 1 本 1 本丹精込めて表現しました。蝶 14 色、植物 4 色

⑦ 西陣手描き友禅染（江戸中期 元禄時代 扇絵師の宮崎友禅斎が着物の小袖に描いた事で始まった）

蝶の部分は京都西陣の職人さんが、ジャカード生地が織り終わった後から手描きで丹精込めて描いていますので厳密に言うと同じ蝶はできません。21 色

⑧ 西陣金彩友禅染

他の蝶の部分金の箔を貼り上から手描きの友禅染めをする事で下の金が差して深みのある友禅染めを出す技法です。16 色

⑨ 加工縫製

生地の裁断は 1 本 1 本を手で裁断しています。生地が厚い為、ネクタイが厚くなり過ぎ無い様に両サイドを折り、合わせ縫いで二重のクロス縫製。ネックテープは蝶に使用した 70 色のカラーを使って織った生地を使用しています。芯地はウール 100%極薄芯地に生地を巻いた巻き芯地を使用しています。9.2cm×142cm（生地のオーダーから製品まで 3 ヶ月掛かります。）